

# 連合 徳島



JTUC-TOKUSHIMA

NO.205 (2009年12月1日)

発行人・小松義明 編集人・齋藤英司

日本労働組合総連合会徳島県連合会

〒770-0942 徳島市昭和三丁3丁目35-1

徳島県労働福祉会館6F

088-655-4105 Fax 088-655-4113

E-MAIL [info@tokushima.jtuc-rengo.jp](mailto:info@tokushima.jtuc-rengo.jp)

すべての働く者の連帯で、希望と安心の社会を築こう

当面の  
日程

- 12月 2日(水) 第1回地方連合会代表者会議(東京)
- 3日(木) 連合第56回中央委員会(東京)
- 4日(金) 公契約条例制定、先進地視察(沖縄)
- 5日(土) 青年委員会総会 13時(労館502号)

## 親子で楽しんだ! ふれあいフェスティバル



毎年恒例の「ファミリーふれあいフェスティバル」が家族の日である11月15日(日)吉野川遊園地で開催され、家族連れなど1,000人を超える参加者で一日楽しんだ。

10時の開園と同時に多くの参加者が受付で風船のプレゼントをもらい、ぬいぐるみと一緒に記念撮影を行った。11時からの開会式典では「ゆとり宣言」フェスティバル・川越実行委員長、小松連合徳島会長があいさつを行い、「この間の行き過ぎた規制緩和のあおりを受け、勤労者の生活は、社会保障にかかる負担の増と給付の減など『ゆとりや豊かさ』を感じるどころか、日々悪化の一途をたどり、貧困や格差の固定化は、次世代を含む『生きる権利』の剥奪な

ど、看過できない事態に陥っている。先の衆議院選挙では政権交代が実現した。勤労者・国民が政治の転換を求めた結果であり、すべての人に働く機会と公正な労働条件を保障し、安心して自己実現に挑戦できる社会である『労働を中心とする福祉社会』の実現への第一歩である。『家族の日』である今日一日を存分に楽しんでください」と訴えられた。

続いて、ビンゴゲームによる「ゆとり抽選会」では多数の賞品が用意される中に行われ、参加者らは番号が発表される度に一喜一憂。また、遊園地内の各種乗り物や模擬店(授産施設・眉山園、女性委員会)のうどん やきそば たこ焼き、わた菓子等、昼時間をピークに長蛇の列ができていた。

当日、朝早くから受付などでお世話になりました電機連合・電力総連のみなさん、ありがとうございました。

## 四国ブロック交流集会 一部落解放地方共闘

一部落解放地方共闘四国ブロック交流集会が11月14日~15日、阿波観光ホテルで開かれ、



四国各県から70人(徳島県からは39人)が参加した。

集会は、地元徳島の加村事務局長の司会進行で始まり、主催者を代表して川越議長が「衆議院選挙で民主党を中心とする連立政権が誕生した。狭山再審闘争でも9月10日に32年ぶりに三者協議(東京高裁・東京高検・弁護士)が開かれ、今後の審理の進め方について協議が行われた。12月中に再び三者協議を開く予定であり、大きな山場を迎える。証拠開示・事実調べ求める世論を更に大きくしていこう。また、差別構造を打ち破る公正なワークルールの確立、セーフティネットを整備し、社会や経済のシステムを人権尊重、『共生・連帯・公正』の方向へ転換させ、安心して暮らせる社会を取り戻そう」とあいさつ。続いて、中央共闘・岡戸常任

幹事から現在の情勢と当面する課題について、来賓あいさつを受けた。

その後、記念講演として解放同盟徳島県連・入谷財務委員長から「徳島における部落解放運動」について講演を受けた。

小休後、阿南市柳島隣保館・笹川館長から「柳島フィールドスタディー」(事前学習会)が行われ、先輩達が団結して知恵を出し合い汗をかき、地域が少しでも良くなることを考え、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題を解決し、明るく住みやすい社会の実現に向けて様々な取り組みを行ってきたことが詳しく報告された。続いて、各県報告が行われ、徳島からは峰行幹事が狭山の取り組みや人権講座、地方研究集会開催などが報告し、「運動を継続していくことが重要だ。人権学習に取り組み、公正・平等な社会形成に向けて取り組もう」と香川・鈴木議長の閉会あいさつで第1日目終了し、夕食交流会となった。

翌15日は、朝食後にホテルを出発し、前日事前学習で講演された笹川館長と解放同盟県連事務局・中西さんの案内で、阿南市柳島町のフィールドワークを行った。

